



PLUS ULTRA

HAKUOH

白鷗大学足利高等学校 令和6年9月30日発行



▲全国大会に出場した選手たち



▲入学式での校長式辞

関東大会に出場した選手たち▼

関東大会に出場した水泳部の選手たち▼



令和6年

9/30

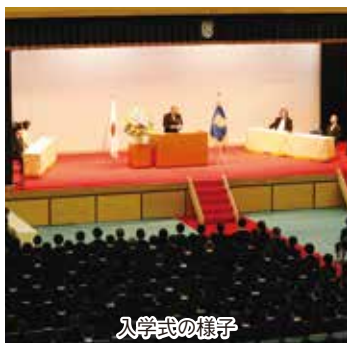
第69号

○「『GRIT:やり抜く力』の芽を育てよう!!」 学校長 大橋 芳樹	2ページ
○令和7年度入試要項	3ページ
○関東大会	4~6ページ
○インターハイ・総文祭	7~8ページ
○白鷗祭	9ページ
○白鷗トピックス	10ページ
○白鷗大学だより	11ページ
○PTAだより・一日体験学習・他	12ページ



『GRIT:やり抜く力』の芽を育てよう!!

白鷗大学足利高等学校長 大橋 芳樹



入学式の様子

本校は、皆さんが過ごしてきた小学校や中学校と同様に、昼間に授業を行う全日制課程の高校です。また、学年制がとられており、3年間で学年ごとに履修すべき科目と取得すべき単位数が決められています。そのため、学年ごとに決められた科目の必要単位をすべて取得できなければ、原級留置となり、その場合は、取得できなかった科目の単位だけでなく、基本的には、その学年で決められたすべての科目の単位を取り直す必要があります。



入学式で誓いの言葉を述べる特1の1 宮内 綾那さん(白鷗中)

単位取得については、科目ごとに設定される授業時数の3分の2以上を出席し、その科目の成績が一定水準に達した場合に単位の取得が認定されます。さらに、その学年で決められた科目の必要単位がすべて認定された上で、学年の出席日数が出席すべき日数の3分の2を満たした場合に、1つ上の学年への進級や卒業が認定されることになります。そのため、学年制をとる全日制課程の高校は、極力欠席せずに、授業だけではなく、学校行事、生徒会活動、部活動など学校で行われるすべての教育活動に主体的に参加し、他の生徒たちと切磋琢磨することを通して、自己を成長させていくことが求められます。

私は本校にお世話になって5年目、校長としては4年目を迎えています。校長として勤務する中で、転学や退学をしていく生徒のことが気になり、調べてみました。すると、年度途中の段階で様々な理由により欠席が多くなり、出席日数が規定の日数を満たす見込みがなくなり、単位の取得や進級・卒業が困難となった時点で、スクーリングの日以外は学校に登校せずに単位取得が可能な広域通信制高校に転学したり、本校退学後に広域通信制高校に再入学をしたりするケースがあることがわかりました。

他の生徒たちと切磋琢磨しながら高校生活を送る間には、他人と意見が合わなかったり、理不尽なことを言われたりして嫌な思いをすることが、誰にもあると思います。もしくは思っていたような学校生活にならず歯がゆい思いをすることもあるでしょう。そのような時に、それを乗り越えて前向きな高校生活を送ることを支えてくれるのが『GRIT:やり抜く力』だと私は思っています。2・3年生には昨年度のゴールデンウィークに、1年生には入学時に「『GRIT:やり抜く力』の芽確認シート」を使って、生徒の皆さん一人ひとりが『GRIT:やり抜く力』の芽を持っていることを確認させていただきました。日頃から生徒の皆さんにお話ししているように、「GRIT」の

Gは『Guts(度胸)』
Rは『Resilience(復元力)』
Iは『Initiative(自発性)』
Tは『Tenacity(執念)』の頭文字です。

本校で行われている授業、学校行事、生徒会活動、部活動などあらゆる教育活動に生徒の皆さんが主体的に関わり、様々な経験を積みむことで、生徒の皆さん一人ひとりが持っている『GRIT』の芽が徐々に育っていくのだと思います。ぜひ『GRIT』の芽を大きく育てて、本校での高校生活を有意義なものにしてください。

＜「四つ葉のGRIT」お礼＞



「グリット(GRIT):やり抜く力」

- ① **Guts** (ガッツ): 困難に立ち向かう「**度胸**」
- ② **Resilience** (レジリエンス): 失敗してもあきらめずに続ける「**復元力**」
- ③ **Initiative** (イニシアチブ): 自らが目標を定め取り組む「**自発性**」
- ④ **Tenacity** (テナシティ): 最後までやり遂げる「**執念**」

※「グリット」の提唱者:ペンシルバニア大学教授のアンジェラ・リー・ダックワース氏

●入試相談会	
新校舎	本校舎会場
●10月12日(土) 9:00~12:30	●11月 2日(土) 9:00~12:30
●11月 9日(土) 9:00~12:30	●12月 1日(日) 9:00~12:30
●11月23日(土) 9:00~12:30	
埼玉会場	白鷗大学会場
〈市民プラザかぞ〉	〈白鷗大学大行寺キャンパス〉
●10月18日(金) 17:00~20:00	●11月16日(土) 10:00~15:00

※本校の入試に関する質問に応じますので、ご都合の良い日時においでください。
最終受付は終了30分前になります。事前のお申し込みは不要です。

本校は、新校舎の完成によりキャンパスが一体化されました。これに伴い、令和6年度より進路希望に合わせて学べる3コース+Sクラスが編成されました。今年度からスタートした新しいコースに合わせて、令和7年度の入試要項が決まりました。なお、今年度も学校説明会・見学会、入試相談会を実施します。是非、ご参加ください。

令和7年度

入試要項・入試相談会

令和7年度入試要項

	試験別	コース	試験日	試験教科	出願期間	合格発表
第1回入試	併願	学業特待生	令和7年 1月5日(日)	国・社・数・理・英	令和6年 11月25日(月) ~12月5日(木)	令和7年 1月10日(金)
		一般 I		国・数・英		
	単願	特別進学コース		国・社・数・理・英 面接		
		単 願	令和7年 1月6日(月)	国・数・英 面接		
		部活動特待生		国・数・英 面接・実技		
第2回入試	併願	ランクアップ	令和7年 1月26日(日)	国・数・英	令和7年 1月11日(土)~16日(木)	令和7年 1月30日(木)
		一般 II				

●学校説明会・見学会

新校舎

●10月26日(土) 申込み期間
8月23日(金)~10月18日(金)

定員 270名

・9:00~ 受付
・9:30~ 学校説明
・10:45~ 校内見学
・11:45 終了

◎学校や入試に関する説明を聞き、実際に校舎を見学することができます。

※9月28日(土)開催の第1回目の申込みは終了済みです。

至桐生 昭和通り 群馬銀行 至佐野

JR両毛線 県道67号線 足利駅

陸橋 市営有料駐車場 渡良瀬川 田中橋

東武足利駅 至館林

東武鉄道伊勢崎線

白鷗大学足利高等学校

〒326-0054 栃木県足利市伊勢南町3-2

関東大会 硬式野球部 春関東初優勝！

～インターハイへ向けて～
12部193名が出場

硬式野球部

春季関東大会初優勝

5月18～26日、群馬県の上毛新聞敷島球場と高崎城南球場において第76回春季関東大会が行われ、本校は栃木県第1代表として出場しました。

1回戦は前橋商業高校（群馬県2位）との試合でした。三回に連打でチャンスを作ると、総3の5松浦舜さん（東仙台中）の三塁打で2点を先制。その後、四回と六回に追加点を挙げ、試合を有利に進めることができました。先発した総3の5昆野太晴さん（利府中）も走者を背負いながらも要所を締める投球で、7回1失点と試合を作り、8回コールド9―2で勝利しました。

準々決勝は、東海大相模高校（神奈川県2位）との試合でした。先発した総3の2山口幸大さん（関城中）は、相手の強力打線に



前橋商業に勝利し
喜び選手たち

臆することなく攻めた投球で試合を作りました。0―0で試合が進みましたが、七回に総3の1篠原飛羽さん（東陽中）、総3の2小



表彰式の様子

た。

準決勝の相手は、帝京高校（東京都1位）でした。二回に先制し、三回には追加点を挙げ、七回にはダメ押しと効果的に得点を重ね、3―1で勝利しました。

決勝戦は、常総学院高校（茨城県1位）との試合でした。1―1の展開から六、七回に失点し、1―4という厳しい状況になりました。しかし、七回に連続タイムリーで1点差まで追い上げると、八回には総3の5小野寺応助さん（中山中）のタイムリーで同点に追いつきました。九回が終了した時点で4―4の同点のまま延長タイブレークに突入しました。十回表、相手の攻撃を0点で抑えると、その裏の攻撃で、押し出し死球でサヨナラ勝ちを収め、春季関東大会初優勝を成し遂げることができました。

皆様方の力強い応援のお陰でこのような結果を残すことができました。ありがとうございました。

女子バスケットボール部

関東大会Bブロック準優勝

女子バスケットボール部は6月8・9日に東京都立川市で行われた関東大会に出場しました。初日の1回戦は、茨城県代表の水城高校に67―62で勝利。2回戦は群馬県代表の高崎商業高校に69―46で勝利することができました。2日目の準決勝では、埼玉県代表の埼玉栄高校に序盤はリードされましたが、文3の1星野琉奈さん（北押原中）のジャンプシュートや、総3の1河津春香さん（一条中）のドライブから得点を重ね79―65で勝利。決勝戦は千葉県代表の市立柏高校で、総2の2根本陽和さん（足利西中）の外角からのシュートなどが決まり前半は互角の内容。後半は徐々に、相手に高さのミスマッチをつかれ61―69で敗退し、Bブロックで準優勝となりました。この経験を糧にして今後の練習に取り組んでいきます。そして、冬のウィンターカップに必ず出場します。応援ありがとうございます。



関東大会バンチメンバー

最後に、今大会へ出場するにあたり、応援・サポートしてくださった皆様に深く感謝を申し上げます。大会報告といたします。

サッカー部

2年連続で関東大会に第1代表で出場

5月25～27日、千葉県で関東大会が行われました。サッカー競技は各都県優勝校の第1代表8チームでの1位トーナメント戦と、同準優勝校の第2代表8チームでの2位トーナメント戦があります。本校は県大会を6試合無失点、イエローカード0枚での完全優勝を達成し、本戦に挑みました。

準々決勝は埼玉県第1代表の正智深谷高校と対戦しました。選手たちは全力でプレーしましたが、最後まで相手ゴールをこじ開けることができず、0―3で敗退してしまいました。今年こそは優勝を目指そうと準備しましたが、本戦の壁はまだ高いことを実感しました。この経験を糧に選手権に向けチーム一丸となり、さらなる成長を目指していきたいと思えます。



関東大会出場メンバー

最後に、今大会へ出場するにあたり、応援・サポートしてくださった皆様に深く感謝を申し上げます。大会報告といたします。

ボクシング部

◆小林さん2階級制覇、技能賞受賞！
◆竹部さん、鍋木さん、1年生ながら優勝！

5月31日～6月3日、千葉県八千代市民体育館で開催された令和6年度第66回関東高等学校ボクシング大会に、男子6名、女子2名の8名が出場しました。

結果は、階級を一つ上げた男子ライトフライ級の小林さんが昨年の男子ピン級に続き2階級を制覇し、さらに技能賞を受賞しました。また、女子ピン級の竹部さん、女子ライト級の鍋木さんが共に1年生ながら優勝することができ、女子の学校対抗では第2位となりました。男子フライ級の藤田さんは第3位入賞となりました。



関東大会に出場した(左から)福田さん、藤田さん、紀さん、鍋木さん、竹部さん、小林さん、倉島さん、藤元さん

今後の大会でも結果を残せるようにチーム一丸となって頑張りますので、応援よろしくをお願いします。

【男子出場選手】

ライトフライ級
総2の5 小林 栄純さん(鹿沼北中)

フライ級
総3の1 藤田 啓人さん(足利二中)

バンタム級
文3の1 倉島 将也さん(大平南中)

ライト級
文3の2 藤元 武蔵さん(吹上中)

ライトウェルター級
文3の1 紀 堅志朗さん(佐野南中)

ウェルター級
文2の1 福田 晃庸さん(佐野城東中)

【女子出場選手】
ピン級
総1の4 竹部 志保さん(綿打中)

ライト級
総1の5 鍋木 結愛さん(生品中)



関東大会で入賞した(左から)藤田さん、小林さん、竹部さん、鍋木さん

陸上競技部

女子総合3位 男子13名がインターハス

6月14～17日、東京都駒沢オリンピック公園陸上競技場において関東高校総体が行われ、本校からは34名の選手が参加しました。

結果は、男子が400mで文3の3新井颯斗さん(佐野南中)が第4位に、800mで総3の2市村蓮さん(間々田中)が第6位にそれぞれ入賞し、インターハイ出場を決めました。

女子は、4×100mリレーで総2の5宮澤亜実さん(足利二中)、総3の2覺本千莉さん(栃木西中)、進1の3厚木ひまりさん(足利二



400mで第4位入賞の新井さん

中)、文2の1小竹りりかさん(八千代一中)のオーダーで第2位入賞を果たしたのをはじめ、個人種目でも多数の入賞者を出し、総合第3位という成績を挙げることができました。

関東大会の結果、インターハイへ男子2名、女子11名の出場を決めることができました。インターハイも活躍できるように頑張ってくださいと思います。応援ありがとうございます。



800mで第6位入賞の市村さん

水泳部

一泳入魂

7月20～22日、茨城県山新スイミングアリーナにて第75回関東高等学校水泳競技大会が開催され、本校からは、20名が出場しました。入賞者および標準記録を突破し、インターハイ出場を決めた選手は

表のとおりです。
インターハイでは悔いのないレースができるよう、精一杯頑張ってくださいませ。

【入賞者および標準記録突破選手】

200m自由形 第5位

400m自由形 第7位

200m・400m自由形

男子400mメドレーリレー

総3の1 布施 澤侍さん(太田西中)

総2の3 落合 由征さん(佐野南中)

総1の2 川島 大歩さん(佐野南中)

文3の1 川村 健太さん(あそ野中)

男子400mリレー

総3の4 金子流輝さん(太田旭中)

総1の1 溝口 舜大さん(佐野北中)

総3の5 飯塚 峻樹さん(東陽中)

女子400mリレー

総2の3 後藤 遥楓さん(今市中)

総1の4 中村 麻乃さん(足利二中)

文2の2 宮島 愛香さん(間々田中)

総2の4 福田 円さん(晃陽中)

男子800mリレー

総3の5 飯塚 峻樹さん(東陽中)

総1の2 川島 大歩さん(佐野南中)

文3の1 溝口 舜大さん(佐野北中)

文3の1 川村 健太さん(あそ野中)

女子800mリレー

総2の4 福田 円さん(晃陽中)

総3の4 高島 美穂さん(足利北中)

文3の3 石井 月乃さん(佐野南中)

総2の3 後藤 遥楓さん(今市中)



入賞した福田さん

男子ソフトボール部

関東大会2回戦で惜敗

男子ソフトボール部は6月1日より千葉県千葉市で開催された関東大会に、栃木県の第1代表として出場しました。

1回戦は山梨県代表の東海大学付属甲府高校と対戦しました。投打ともに圧倒し、13-0の5回コールドで勝利しました。



試合前の整列

2回戦は埼玉県代表の県立熊谷工業高校と対戦しました。エースの前田一成さん(足利北中)が熊谷

工業の強力打線を相手に好投しましたが、タイムリーヒットや味方の失策により得点されてしまいました。また、攻撃では相手投手のライズボールとドロップに翻弄されてしまい、得点は進3の1舟橋嘉人さん(豊田中)の本塁打による1点にとどまりました。試合は残念ながら1-5で敗戦しましたが、最後まで全力で戦い抜くことができました。

今後も精一杯努力していきたいと思っています。男子ソフトボール部の応援をよろしくお願いします。

剣道部

3年生を中心にチームが二つに

剣道部は6月7～9日に神奈川県横浜市の横浜武道館で開催された関東大会に出場しました。

女子団体戦予選リーグの初戦では、次鋒・特3の1佐藤玲乃さん（邑楽中）が落ち着いた試合運びで引き分けに持ち込み流れを呼び込むと、中堅・進1の1小松ななみさん（小山三中）と副将・文3の2岩岳咲良さん（足利二中）が



関東大会に出場した剣道部

一本勝ちを収め、初戦を2-0で勝利しました。2試合目は強豪校と対戦し敗戦となりましたが、全

軟式野球部

春季関東大会13年ぶりの準優勝

春の栃木県大会の結果、栃木県B代表として6月1日から東京都昭島市で開催された春季関東大会に3年ぶりに出場しました。

関東大会では強豪校がひしめく中、最後まで諦めない粘り強い野球を貫き、勝ち進んでいきました。1回戦は東京都B代表の日体

員が粘り強く戦うことができた。リーグ戦突破は果たせませんでしたが、3年生を中心に雰囲気もチームワークも良い中で戦うことができました。

続く女子個人戦では、団体戦の悔しさを胸に文2の1戸井ひよりさん（乙女中）が戦いましたが、初戦敗退でした。

2年ぶりの関東大会出場でしたが、部員全員の成長を非常に感じることできた大会でした。引き続き応援のほど、よろしくお願いいたします。

体操競技部

部員全員が関東大会出場

5月31日～6月2日、東京都の東京体育館で開催された関東大会が、男子団体と、女子個人に総3の4松本心美さん（大平南中）、総1の6吉本夢空さん（館林三中）の2名が出場し、部員全員が関東大

原高校と対戦し、前半にとった2点を文2の1宮田歩さん（佐野西中）が守り切り、2-1で勝利しました。

2回戦は、茨城県A代表の茗溪学園高校と対戦し、8回まで1-3で劣勢の中、文3の1今尾真人さん（太田城東中）のタイムリー二塁打が決勝点となり逆転勝利を収めました。

準決勝は神奈川県A代表の三浦



出場した(左から)吉本さん、松本心美さん、平塚さん、富山さん、松本漣央さん、齋藤さん

会の舞台に立つことができました。初出場の1年生3人を含むメンバーでしたが、緊張感溢れる雰囲気の中、3年生を中心に自分の持っている力を十分に発揮し、集中した演技をすることができました。今回の結果を踏まえ、それぞれが課題を克服し、減点のない安定した演技を目指していきます。また、新しい高度な技にも挑戦し、さらに高得点を目指して精進していこうと思います。

【男子団体出場メンバー】

文3の1 平塚 蒼羅さん（館林三中）
文3の2 齋藤 拓斗さん（富田中）
総1の3 富山 琉生さん（富田中）
準1の3 松本 漣央さん（邑楽中）

学苑高校と対戦し、点の取り合いとなった試合の結果、延長12回タイブレークの末、進2の5藤村厚志さん（足利一中）のサヨナラタイムリー二塁打が飛び出し、8-7のルーズベルトゲームを制し、決勝戦の舞台に立つことができました。

決勝戦は、千葉県A代表の拓大紅陵高校と対戦しましたが、昨年全国大会に出場した強豪校に歯が

女子ソフトテニス部

団体戦で第5位入賞

5月31日～6月3日、群馬県前橋市ALSOCKぐんま総合スポーツセンターテニスコートにおいて、関東高校大会が行われました。

団体戦の初戦は山梨県の甲斐清和高校と対戦しました。1番に出場した総1の2生井結愛さん（黒磯中）・総1の1阿久津美優さん（芳賀中）ペアは負けてしまいま

したが、総1の3螺良寧々さん（芳賀中）・総3の3富山鈴香さん（杉戸広島中）ペアがG4-0で勝ち、3番勝負となりました。

3番に出場した総3の3真船姫来さん（西郷一中）・総2の5西牧結愛さん（杉戸広島中）ペアは落ち着いた試合運びを見せてG4-1で勝ち、チームは2-1で勝利しました。ベスト4をかけた準々決勝戦は埼玉県の埼玉平成高校に

立たず0-5で敗退し、昨年の秋季大会に続く2大会連続準優勝という結果でした。この結果に満足

せず、「全国大会出場」というさらに上の目標を目指し、日々の練習を大切に取組んでいきます。



攻守に渡って活躍した藤村さん

敗れましたが、第5位入賞を果たしました。

雨の中行われた個人戦には8ペ



サーブを打つ
総3の2高垣虹花さん
（鷺宮東中）

アが出場しましたが、上位進出を果たすことはできませんでした。応援ありがとうございました。

柔道部

悔しい敗戦

柔道部は6月1・2日に、栃木県宇都宮市のユウケイ武道館で開催された関東大会に出場しました。

初戦で早稲田実業（東京都）と対戦し、1点ビハインドで迎えた中堅戦を、文3の1吉村颯太さん（上青木中）の見事な背負落一本勝ちで同点に追いつき、流れを取り戻しました。続く副将戦を落とし、大将戦で文2の3木口豪人さん（喜連川中）が果敢に攻めまし

たが、引き分け。最終スコア1-2で初戦敗退となりました。

地元開催ということもあり、多くの方々からご声援をいただきましたが、力及ばず悔しい敗戦となりました。この結果を真摯に受け止め、夏の金鷲旗、インターハイ本戦では、優勝目指して頑張ります。引き続き応援よろしく願います。

北部九州総体2024

「ありがとうを
強さに変えて」

ボクシング部

小林さん、価値ある第3位！

8月7～13日、SAGAサンライズパークでインターハイが開催され、本校から過去最多となる5名が出場しました。

その中でライトフライ級に出場した小林さんが、安定した内容で準決勝まで勝ち進みました。準決勝では前年度チャンピオン相手に3ラウンド目は優勢に競技を進めたものの、惜しくも判定で敗退しました。



第3位入賞の小林さん

小林さんに勝利した選手はインターハイ3連覇を果たしましたが、その強豪を追い詰めた小林さんにとつては価値ある第3位入賞でした。残念ながら入賞が叶わなかった4名も、全力で相手と向き合い、よく頑張りました。

最後まで勝利に向かって努力をする3年生の姿を見てきた後輩たちは、今後の大会で必ずや結果を残してくれるでしょう。これからも応援よろしくお願いします。

【男子出場選手】

ライトフライ級
総2の5 小林 栄純さん（鹿沼北中）
フライ級
総3の1 藤田 啓人さん（足利二中）
ライト級
文3の2 藤元 武蔵さん（吹上中）
ライトウェルター級
文3の1 紀 堅志朗さん（佐野南中）
【女子出場選手】
ライト級
総1の5 鈴木 結愛さん（生品中）

柔道部

4名がメダル獲得

柔道競技は、8月10～13日、大分県レゾナック武道スポーツセンターで行われました。

団体戦は、神港学園（兵庫）に3－0で勝利しましたが、2回戦で崇徳（広島）に0－3で敗退しました。

個人戦では、団体戦の悔しさを



第3位の吉村さん



準優勝の（左から）柴田さん、中田さん、第3位の黒田さん

晴らすべく5人の選手が奮闘しました。60kg級に出場した総2の2池内雷基さん（田島中）は、試合中の負傷もあり、力を出し切れずベスト16で敗

退しましたが、他4名の3年生が揃ってベスト4に進出。73kg級文3の1吉村颯太さん（上青木中）、100kg超級で総3の4黒田佑斗さん（足利一中）が見事第3位に入賞しました。また、81kg級で総3の3中田涼太さん（足利一中）、90kg級で総3の1柴田陽さん（金目中）が攻撃力の高さを生かし、決勝戦に進出しました。最後まで攻めの柔道を貫きましたが、惜しくも敗れ、2名ともに準優勝となりました。5名出場し、4名がメダル獲得という素晴らしい結果を収めました。多くの応援をありがとうございました。

水泳部

一泳入魂

8月17～20日、佐賀県SAGAアクアにて令和6年度全国高等学校総合体育大会水泳競技大会・第92回日本高等学校選手権水泳競技大会が開催され、本校からは13名が出場しました。

悔いのないレースができるよう、より上を目指して練習を重ねてきました。残念ながら、決勝進出とはなりませんでしたが、最後まで諦めずに戦えたことで、次につながる経験ができたと思います。リレーメンバーは1・2年生も多く出場しているため、この悔しい経験を生かし、来年は今年以上の結果を出せるよう、努力したいと思



インターハイに出場した水泳部員

います。そのために、今以上にチームが一丸となり切磋琢磨していきます。保護者の皆様をはじめ、たくさんの方の応援をありがとうございました。

体操部

7年ぶりのインターハイ出場

7月27日～8月1日、福岡県北九州市の北九州市立総合体育館で開催されたインターハイに男子個人で文3の2齋藤拓斗さん（富田中）が出場しました。本校体操部からは、7年ぶりの出場となりました。

齋藤さんは初めての全国大会でしたが、臆することなく普段以上の力を発揮し、自己ベストである72・464点の演技をすることができました。しかし、個人総合決勝進出20名に0・6点届かず、



演技中の齋藤さん

残念ながら予選を通過することはできませんでしたが、

齋藤さんは、大学進学後も体操

を続ける予定です。今後の活躍にも期待したいと思います。

軟式野球部

全国大会初出場

夏の北関東地方大会で初優勝を果たし、北関東代表として8月24日から兵庫県明石市で開催された全国大会に初出場しました。

1回戦は四国代表の松山商業高校（愛媛県）と対戦しました。五回に打者一巡の猛攻から7得点を挙げる等、試合を優位に進め9－0で見事全国大会初勝利を挙げました。2回戦は南部九州代表の開新高校（熊本県）と対戦しました。



笑顔でプレーする文2の1 宮田歩さん（佐野西中）

進2の1秩父啓斗さん（足利西中）の好投が光り、7回終了まで得点を許しませんでした。しかし、八回にワンチャンスをものにされ、先取点を許してしまいました。その後は相手の粘り強い守備に阻まれ、0－1で敗退。僅差で敗退し、悔しい結果となりましたが、目標としていた初の全国大会出場で1勝を挙げることができました。

この結果に満足せず、「全国大会ベスト4以上」という、さらなる目標を設定し、日々の練習に取り組んでいきます。

白鷗祭 2024

PLUS ULTRA 白い翼を未来に向けて

キャッチコピー 文3の1 田沼 恵翔さん(藤岡二中)

8月30・31日、本校舎で6年ぶりとなる白鷗祭が開催されました。

校舎内では各クラスが工夫を凝らした催し物を準備したり、文化部が日ごろの活動の成果を発表したりしました。

シーガル体育館では、書道部、合唱部、ダンス同好会、バントワリング部、軽音楽部のパフォーマンスのほか、有志によるダンスや演奏が行われました。また、マルベリーホールでは作詞家の売野雅勇さんをお迎えし、タレント発掘オーディションが実施され、大変盛り上がりしました。

3年前はコロナ禍のため中止となり、6年ぶりに本校舎で開催された白鷗祭。生徒たちは仲間と協力して白鷗祭を創り上げ、青春の1ページを彩る活気あふれる2日間となりました。



オープニングセレモニー



ボスター
総3の3 鈴木里功大さん(乙女中)



Welcome to HAKUOH Festa.



多種多様な展示作品・パフォーマンス



白鷗トピックス



新校舎披露式典

9月11日、市内小中高校の校長先生を来賓にお迎えして、新校舎披露式典が新校舎アリーナで挙行されました。



挨拶をする
上岡修三理事長先生



新校舎外観

唱部による校歌紹介などが行われました。挨拶された上岡理事長先生は「新校舎は生徒の皆さんの成長を願って『創造力を育むことができる校舎を』という思いで建設しました。しかし、実際に創造力や個性、様々な才能をどうやって伸ばしていくかは、この校舎で学んでいく皆さん次第です」と生徒たちにエールを



ラーニング commons

送りました。新校舎は、様々な場面で学びの場として利用できるフリースペース（ラーニング commons）を校舎の中央に配し、H R 教室や特別教室のほか各自が学習したり、先生に指導を受けたりできる学習スペースが確保されています。充実した学習環境のもとで、生徒たちがのびのびと学習に取り組んでくれることを期待します。

初の合同開催！ 新入生歓迎球技大会

5月22日、新入生歓迎球技大会が開催されました。今年の球技大会

令和6年度球技大会結果

- ◆ソフトドッジボール（男子）
優勝 総合進学コース 2年4組
2位 総合進学コース 3年1組
3位 総合進学コース 2年5組
3位 進学コース 3年2組
- ◆ソフトドッジボール（女子）
優勝 総合進学コース 3年2組
2位 進学コース 3年2組
3位 文理進学コース 3年3組
3位 進学コース 3年4組
- ◆ソフトバレーボール
優勝 総合進学コース 3年2組
2位 特別進学コース 2年1組
3位 総合進学コース 2年1組
3位 進学コース 3年4組
- ◆バドミントン
優勝 総合進学コース 2年4組
2位 進学コース 3年2組
3位 進学コース 3年4組
3位 総合進学コース 1年3組
- ◆モルック
優勝 総合進学コース 3年4組
2位 総合進学コース 2年5組
3位 総合進学コース 2年2組
3位 総合進学コース 1年3組



バドミントンの様子

会は本校舎と新校舎合同での開催となり、校庭でソフトドッジボールを、新体育館でバドミントンを、シールガル体育館・マルベリー体育館の2会場でソフトバレーボールを、柔道場でモルックを行いました。各クラスで競技を選択し、男子別チーム・男女混合チームを組み、戦術を立てて臨みました。どの競技も、決勝トーナメントまでに汗を握る展開で大激戦でした。ソフトドッジボール女子の決勝では、優勝を果たした総3の2が試合前に担任の先生自らチームに熱の入った指導を行い、見事決勝戦を制しました。

結果的に、5部門中、2部門で



ソフトバレーボールの様子

2年生チームが3年生チームを破る大金星をあげました。

新クラスが発足してから、全員が協力して取り組んだ初めての学校行事となり、球技大会を通してクラスの仲が深まったのではないかと思います。今回の行事が生徒たちの良き思い出になってくれれば幸いです。各競技の試合結果は表の通りです。

3学年 探究学習発表会

5月23日、本校舎シールガル体育館において、本校舎3年生による探究学習発表会が行われました。昨年度、総合的な探究の時間で学習した沖縄修学旅行とSDGsをテーマに、各クラスの代表者が発表を行いました。各クラスが、自由な発想と視点から特色ある発表を行うことができました。この発表を通して、沖縄の抱えている問題や沖縄の歴史、新しい文化などを改めて考えることができました。発表を聞いていた2年生も次年度

の総合的な探究の学習に向けて、参考になったようです。

リンカーンスピーチコンテストで入賞！

★国際交流で一番大切なものは「言語」

6月30日に第21回青少年スピーチコンテストが足利市助戸公民館ホールで開催され、進3の2倉林琵琶嘉さん（足利一中）が高校生以上二〇歳以下の部で優秀賞を獲得しました。

審査はリンカーンのゲティスバーグでの演説を英語でスピーチしたものと、日本語によるスピーチで行われました。倉林さんは、「高校生最後のスピーチコンテストでしたので、2位になったことは悔しいです。しかし、リンカーンの演説ができたこと、フランス留学で『相手の母語で話せばその人の心に届く』というネルソンマデラ氏の言葉を体現でき、将来の夢を見つけれられたことを、会場の皆様に伝えられたことは大変勉強になりました」と感想を述べました。



スピーチをする倉林さん

白鷗大学だより

PLUS ULTRA — さらに向こうへ。



力走する学生ランナー

気軽に参加できる日常的な運動の場を地域に提供しようと、陸上競技部の竹島克己前監督が発案した小山土曜マラソンが8月を除く毎月第2・第4土曜日に、大行寺キャンパスグラウンドで実施されています。小学生から一般のランナーまで毎回幅広い年代が参加しており、タイム計測や記録等は本学生がボランティアとして協力しています。

この取り組みは2004年6月から続くもので、6月に20周年を迎えました。これを記念して、6月8日に小山土曜マラソン20周年記念大会を開催。本学生による節目を祝う記念RUNの後、約160名のランナーが声援を受けながら快晴の下で力走しました。

同大会を運営する教育学部スポーツ健康専攻の藤井和彦教授（体育・スポーツ経営学）は「いつもご参加いただいている一般の皆様

小山土曜マラソンへ20周年記念大会を開催

には、若いエネルギーに満ちた学生の姿を見ていただき、各運動部を応援していただくきっかけになったのではないのでしょうか。スポーツや健康科学を学ぶ学生にとっても、市民ランナーとの触れ合いを通して生涯スポーツの価値を再認識する機会になったと思います。約100名の学生が呼びかけに応じて集まり、当日も自ら進んで走ったり、応援したり、明るく楽しむ姿勢がとても素晴らしかったです。今後も続けていきたい」と喜びを語りました。

国際シンポジウムを開催

～裁判員制度を国際的観点から検証～

5月12日、「裁判員制度を国際的・多角的な観点から再検証する」と題した国際シンポジウムを本キャンパスの白鷗国際ホールで開催。企画者である法学部の平山真理教授（刑事訴訟法）のほか、国内外の専門家による報告とパネルディスカッションが行われ、施行15年を迎える裁判員制度のこれまでの成果や、日本と海外の制度の違いなどを検証しました。

四宮啓弁護士は報告の中で、昨年度のアンケート調査で「裁判員を務めてみたい」と答えた人が10代では65%を占め、ほかの世代よ



パネルディスカッションの様子

りも多かった点に注目し「学生が裁判員を務めるためには学校側の配慮や環境づくりが必要」と提言しました。司法制度への市民参加に詳しいヴァレリー・ハンス教授

学生に食材を無料配布

5月8日、「食品ロスをなくそう」を合言葉に、食品ロス削減の啓発活動を両キャンパスで実施しました。これは、株式会社ニッポンから提供された食品（商慣習により賞味期限内でも流通できなくなったもの）を学生に無償で配布し、学生たちに、改めて食品ロス削減やSDGsに理解を深めてもらうことを目的とするものです。

今回用意された食材はそうめんやパスタ、パスタソースにお好み焼き粉など合わせて約9000点で、昼休みに配布を実施。多くの学生が詰めかけ、1人5点ずつ好きなものを選んで持ち帰りました。教育学部3年の薄井駿さんは、「一人暮らしをしているのでとて

（コーネル大学ロースクール）は日本では、特定の犯罪の裁判に裁判員の参加が義務づけられている点について「諸外国よりも市民が裁判に果たしている役割が大きい」と評価。平山教授は「歴史のあるアメリカの陪審制度と、2023年に始まったばかりの台湾の国民法官制度を比較しながら、大変意義のある検証ができました。こうした議論が裁判員裁判への市民参加を進めるためには大切だと思います。2029年には『施行20年』を検証する場を設けたい」と振り返りました。

食品ロスを無くそう



食品を受け取った学生たち

もありがたい。食品ロスやSDGsを意識する良きっかけになりました。またこのような機会があればぜひ参加したい」と感謝を述べました。

7月19日には第2回目の無料配布が同様に行われ、行列ができる盛況ぶりでした。

PTAだより

活気あるPTA活動に向けて

PTA会長 石井 薫



8日に行われた入学式で新入生をお迎えし、白鷗大学足利高校の益々の一体感を感じる年度初めとなりました。

PTAにおいては、昨年度より

PTA会員の皆様、日頃のPTA活動に多大なるご協力を賜り心より厚く御礼申し上げます。新型コロナウイルスが5類に移行してから1年が経過し、日々の中に活気溢れる子どもたちの姿を見ることができ、喜びを感じております。また、新年度を迎え、新校舎開校によるキャンパスの一体化、そして4月

一日体験学習

7月27・28日の2日間にわたりキャンパスが一体化して初めての一日体験学習が開催されました。本校舎には961名、新校舎には777名の中学生と保護者が来校しました。

令和6年4月に新校舎が完成し、キャンパスの一体化に伴い、コースが再編されました。普通科の4コースから進路希望に合わせて学べる3コース+Sクラスになりました。そのため、本校舎では、新



模擬授業の様子

の後、本校舎では12コマ、新校舎では7コマの模擬授業がそれぞれ開講されました。

しい進学コースと総合進学コースの受験を希望する中学3年生を対象に、新校舎では、新しい特別進学コースの受験を希望する中学3年生を対象に募集をしました。

校長挨拶、学校説明、入試説明

役員の方々が中心となって、これから設営や運営にご尽力いただいたおかげで、今年も開催することができました。参加された会員の皆様にとって、充実した時間になったのではないかと思います。さらなる活気あるPTA活動になりますよう、ご理解ご協力をお願い申し上げます。

実施 応急処置講習会 実性教育講演会

【応急処置講習会・2年生対象】

7月4日、足利市中央消防署のご協力の下、心肺蘇生法の手順やAEDの使用方法について、ご教授いただき、現場に遭遇した人にしか助けられない命があることを



新校舎前の様子

た。開講された授業の内容もそれぞれのコースに対応した内容となりました。

参加した中学生は、それぞれの校舎で熱心に講座を受けていました。来校された中学生や保護者からは、高校生活や本校に対する期待が感じられ、先生方も身の引き締まる思いでした。



応急処置講習の様子

学びました。私たちも一歩前に踏み出し、行動できるようにしましょう。

【性教育講演会・1年生対象】

7月11日に行われた性教育講演会では、浅岡産婦人科院長浅岡健太郎様をお招きし「妊娠・避妊・性感染症」についてご講演いただきました。性行動については、一人ひとりが正しい知識と責任ある行動が大切であると理解を深めることができました。

ホームページリニューアル

本校のホームページが6月にリニューアルされました。構成が一新され、ビジュアルが爽やかになり、令和6年4月に完成した新校舎の設備についても紹介されています。また、来訪者別のメニューができ、在校生向けのお知らせや、部活動のニュースなどがチェックしやすくなりました。さらに、保健室や事務室のページが新設され、保護者の方々と卒業生の



新HIPのビジュアル

方々にも利用しやすいホームページとなっております。新しくなったホームページをぜひご覧ください。

編集後記

9月1日のプロ野球、千葉ロッテマリーンズ対福岡ソフトバンクホークス戦で、本校出身の山下誠一郎内野手（ロツテ）と大山凌投手（ソフトバンク）の対戦が実現しました。プロの舞台で本校出身選手同士が対戦するのは初めてのことでした。本校部活動の活躍に目を向けると、その2選手を輩出した硬式野球部は春の関東大会で初優勝し、ボクシング部も優勝に輝きました。また、インターハイでは複数の部活動が上位入賞を果たしました。それぞれの生徒が、「GRIT」の芽を育てた成果であることはもちろんですが、重要なことは何事においても「GRIT」の芽を育てる姿勢を継続させることです。すぐに成果が出なくとも継続させることで、社会に出てから芽が育って、自分の分野で輝くチャンスがあるはずです。

※ お忙しい中、原稿・写真等の協力ありがとうございました。

編集・校報委員会

発行・白鷗大学足利高等学校

足利市伊勢南町3の2

0284-410890

発行日・令和6年9月30日

